

平成23年度中小企業販路開拓展開等支援事業の実績

事業所名 有限会社和風レストランけいほく

企業概要

代表者名 代表取締役 田尻 和人
住 所 京都市右京区京北下中町町田
U R L <http://furusato.keihoku.net/>
主たる事業 飲食業、体験施設



企業紹介

地元の食材を使ったレストランを運営していたが、京北地域を観光客にPRしていくため、平成23年3月に体験型のレストランを新設（農商工連携応援ファンド活用）。京北地域で食されてきた昔ながらの料理のPRや新たな特産品開発、滞在型観光メニューを手がけるようになった。

補助対象事業の概要

事業のテーマ:

地域資源を生かしたテーマパーク事業

事業の目的と具体的内容

当京北地域は、高齢化・著しい若年層の減少が目立ち地域の活力が低下している。近年、各団体が観光事業に着目し始め、京北商工会では平成18年より観光事業の一環として体験型モニターツアーを継続して実施してきた。

我が社においても特産品や料理の提供により協力してきたが、常設の体験施設がなく、平成23年3月に「餅つき」や「そば打ち」ができる施設の京蕪庵を建築した。今回の事業では、環境問題への取組を重視し、山紫水明の京北地域全体を環境テーマパークにするべく、山林・河川・農地・地域住民を総合的に連携させるためのシステム作りを行う。

補助金を受けた成果と今後の展開

文化回帰（温故知新）のために囲炉裏を施設に設置し観光客や地元住民にも好評を得て新規の顧客ばかりでなくリピーターも増加してきた。特に、囲炉裏で餅を焼き、顧客に提供したことにより特産の納豆もちの販売量も増加傾向にある。更に、看板やバス車載広告により、そば打ち・餅つき体験の申し込みも徐々に増加傾向にある。また、試作品（あたご鍋）も完成させ、食品検査も済み販売できるまでになった。

今後の展開として、特産品を販売可能なまでに完成させ、物産展や道の駅での販路開拓に取り組む。また、拠点施設である京蕪庵を中心として農業体験やサイクリングロード、ウォーキングロードと組み合わせた観光メニューの開発や学生の教育の場となるような施設として一層の充実を図る。